

ゆうき・やすひろ 69年生まれ。法政大博士(政治学)。専門は社会保障論、社会福祉学



結城康博 淑徳大学教授

介護危機の現状と課題 ①

制度設計、人材確保 最優先で

ポイント

介護事業者側が利用者を選別する事態も。訪問介護などは自治体の直接運営検討を。「高福祉・高負担」の介護施策も選択肢に

の雇用情勢は一段と厳しさを増している。コロナ禍の影響もあり、全体の有効求人倍率は7月時点で1・08倍と低下傾向にあるのに対し、介護関係職種は3・95倍となお高止まりしている(図2参照)。

介護は対人サービスを基本とするだけに、人材を確保することが絶対条件だ。情報通信技術(ICT)や介護ロボット機器の開発などにより介護職員の負担が軽減されることで、若干でも少ない人手で済むようになる側面もある。だが厚生労働省の資料によれば、団塊世代がすべて75歳以上となる25年度には、さらに約30万人もの介護職員が必要となる。ICTの開発や外国人介護職員の活用が成功しても、新たに多くの日本人介護職員が必要とされることには変わりはない。

介護は対人サービスを基本とするだけに、人材を確保することが絶対条件だ。情報通信技術(ICT)や介護ロボット機器の開発などにより介護職員の負担が軽減されることで、若干でも少ない人手で済むようになる側面もある。だが厚生労働省の資料によれば、団塊世代がすべて75歳以上となる25年度には、さらに約30万人もの介護職員が必要となる。ICTの開発や外国人介護職員の活用が成功しても、新たに多くの日本人介護職員が必要とされることには変わりはない。

介護は対人サービスを基本とするだけに、人材を確保することが絶対条件だ。情報通信技術(ICT)や介護ロボット機器の開発などにより介護職員の負担が軽減されることで、若干でも少ない人手で済むようになる側面もある。だが厚生労働省の資料によれば、団塊世代がすべて75歳以上となる25年度には、さらに約30万人もの介護職員が必要となる。ICTの開発や外国人介護職員の活用が成功しても、新たに多くの日本人介護職員が必要とされることには変わりはない。

介護は対人サービスを基本とするだけに、人材を確保することが絶対条件だ。情報通信技術(ICT)や介護ロボット機器の開発などにより介護職員の負担が軽減されることで、若干でも少ない人手で済むようになる側面もある。だが厚生労働省の資料によれば、団塊世代がすべて75歳以上となる25年度には、さらに約30万人もの介護職員が必要となる。ICTの開発や外国人介護職員の活用が成功しても、新たに多くの日本人介護職員が必要とされることには変わりはない。

介護は対人サービスを基本とするだけに、人材を確保することが絶対条件だ。情報通信技術(ICT)や介護ロボット機器の開発などにより介護職員の負担が軽減されることで、若干でも少ない人手で済むようになる側面もある。だが厚生労働省の資料によれば、団塊世代がすべて75歳以上となる25年度には、さらに約30万人もの介護職員が必要となる。ICTの開発や外国人介護職員の活用が成功しても、新たに多くの日本人介護職員が必要とされることには変わりはない。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

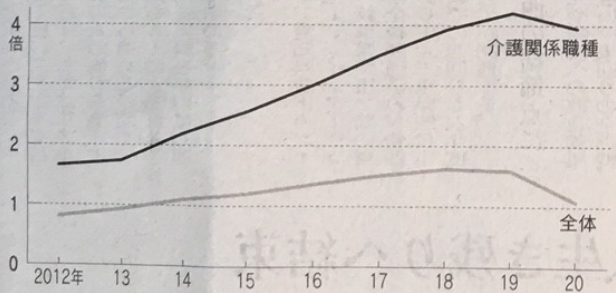
介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

1 社会保障給付費の見通し

Table with 4 columns: Category (介護, 医療, 年金, 子ども・子育て, GDP), 2018年度, 25年度, 40年度. Values in billions of yen.

(出所)2040年を見据えた社会保障の将来見通し

2 7月時点の有効求人倍率(パートタイムを含む常用)



(出所)厚生労働省

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。

介護現場の関係者に聞く。多くの非常勤介護職員が感染リスクを危惧して休職しており、人材不足は一層深刻だという。当然のことながら新規採用も見込めず、介護現場ではコロナ禍以前と比べてもさらに少ないうえにマンパワーで業務をこなさなければならぬ。